周防大島中だより

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.sea.icn-tv.ne.jp/~sojhp/

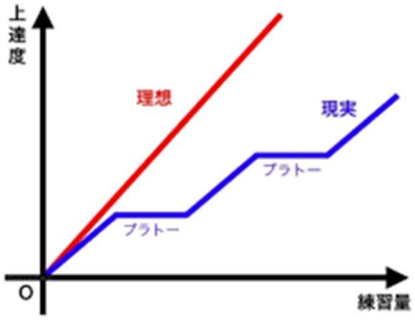
周防大島町立周防大島中学校
２０２３年１２月２２日
■　第　８　号　■

次なる「挑戦」に向けて！

＊令和５年度２学期終業式　校長式辞より抜粋

残暑厳しい９月から、秋が過ぎ、冬の到来へ。慌ただしく駆け抜けた２学期でした。時間の関係で１つ１つを語ることはできませんが、思い出多き２学期が本日で終了します。【自ら考え、判断し、行動する生徒】をめざす姿とし、皆さんは様々な挑戦を行いました。この挑戦によって、どのような成長が見られたでしょうか。今日は、皆さんに「挑戦する上で大切なこと」についてお話しします。

私たちが目標に対して挑戦するとき、右グラフの理想のように直線的に上達するわけではありません。現実は、途中に何度か停滞する時期があります。この時期を「プラトー」と呼びます。



最初は基本的内容で比較的簡単なためすぐに上達しますが、ある段階から、やってもできないと感じる期間が長くなります。なぜなら、レベルアップするためには、習得しなければならない難しい知識や技術が増えていくからです。皆さんも何かに挑戦するとき、この「プラトー」の状態を経験したことはありませんか。そして、やってもできないからといって挑戦することを途中であきらめてはいませんか。

挑戦の種類や個人差により、グラフの角度やプラトーの長さは一定ではありませんが、基本的には誰でも共通の過程を通ります。実は、この停滞する時期こそがとても重要であり、逆にこの時期を通らないと学習や技術の向上は見られないのです。何故かというと、プラトーの期間中、脳は学習した情報を整理して使える形に作り替える作業を行っています。この情報の熟成過程を通ることで、頭の中の情報は使える“知識”として整理されるのです。それにより、応用が利いたり、変化にも対応できたりするようになります。

今結果は出なくても、挑戦を続けていればいつかは必ずプラトーから抜け出せます。そしてプラトーの期間が長かった分、できた喜びや充実感が得られるのです。一番残念なのは、それを知らずにあきらめてしまうこと。この曲線の意味をしっかり理解し、自分を高めるための努力を惜しまないでください。

この冬休みは、夏休みに比べれば短い期間ですが、令和５年から６年に変わる大切な時期です。「自分は目標に向け、挑戦し続けてきたか」これまでの自分を振りかえって、新たな目標をつくっていく。そして目標が決まったら早速「挑戦」を始める。大切な１７日間を過ごしてほしいと思います。そして『令和６年１月９日』。健康で心も豊かに成長した皆さんに再び会えることを心待ちにしながら、私からの式辞といたします。

生徒会役員選挙

「令和５年 生徒会役員」の任期満了に伴い、「令和６年生徒会役員」を選出する選挙が１１月１３日（月）告示、１２月７日（木）投開票の日程で行われました。

この選挙で選出されるのは、執行委員６名です。定数６に対して、２年生５名、１年生５名の計１０名の生徒が立候補しました。現執行部の後を引き継ぎ、これをさらに充実発展させて、よりよい周防大島中学校を自分自身の手で作ろうという強い思いを持って、たくさんの生徒が立候補してくれたことを大変頼もしく感じました。１２月７日の立会演説会で、それぞれの主張を堂々と発表し、立派に選挙運動を戦い抜きました。

選挙管理委員会による厳正なる開票作業の結果、当選者は次のとおりとなり、１２月２２日（金）に任命書が学校長から渡されました。

会長　川田 颯稀②　　副会長　西村 琉平②
執行委員　山崎 究②　尾髙 梛晴②　田村　優典①　秋山　心音①　（丸囲み数字は学年）

小中高合同避難訓練

１１月２２日（水）久賀小学校・周防大島中学校・周防大島高等学校久賀校舎の合同避難訓練が実施されました。南海トラフ大地震とその後の津波を想定し、校舎外への１次避難、山の中腹までの２次避難、オレンジロードとの合流地点までの３次避難を３校合同で実施しました。急勾配の避難でしたが、真剣に取り組むことができました。

2年広島自主研修

１１月３０日（木）に２年生の広島班別自主研修が行われました。原爆資料館で平和学習を行いました。そののち、「広島で学ぶ。広島を学ぶ。」をスローガンに、広島市内を班別に分かれ、原爆ドームや広島城など、それぞれの計画に従い研修を行いました。原爆資料館では、戦争の恐ろしさや平和のありがたさを学ぶことができました。また班別研修では、集団での活動の難しさや、計画の大切さを実感できました。

3年保育実習　久賀保育園へ

３年生の家庭科の授業では、１２月４日(月)・５日(火)久賀保育園で保育実習が行われました。夏休みの課題でつくった手作りおもちゃを使って、園児たちとふれあいました。園児たちのパワーに囲まれて、保育士の仕事の大変さと素晴らしさを感じることができました。

「郷土おおしま」発表大会　(オンライン)

周防大島高校と中高一貫連携校である島内２中学校の合同で、「郷土おおしま」発表大会が、１２月１２日（火）にオンラインで行われました。

本校は、１年生が文化祭で掲示した「郷土おおしま」について調べた内容をもとに、「周防大島ダーツの旅」として発表しました。オンラインでの発表で緊張感もあるなか、発表生徒は文化祭と同様に落ち着いて堂々と発表することができ、とてもよい経験となりました。また、高校生の専門性の高い発表やスムーズで滞りのない司会進行が見られ、中学生にとって、よい刺激となりました。